

思いを紡ぎ、未来につなげる 町長が施政方針演説をしました

施政方針とは町長の町政運営に対する基本的な考え方や予算案および主要な施策について示したもので、一般会計や特別会計、企業会計の当初予算案の提案に先立ち行われています。



しばさき とくいちろう
町長 柴崎 徳一郎

令和7年度の方向性

○総合計画の見直しと実行

第6次吉岡町総合計画の3年間を振り返り、計画通りに進められなかった施策や新たな課題に対して、方向性を再認識した上で、町の運営方針を定め、実行していく必要があります。

○町民生活の維持と町全体の発展

町民の生活を守りつつ、町の発展を図るという使命を忘れてはなりません。さまざまな問題に対して、この使命を常に念頭に置く必要があります。

○規模や財政状況を見据えた将来への投資

企業誘致などの事業は、町の規模や財政状況を見据え、無駄を省きながらも、将来に必要な投資は積極的に行う必要があります。

令和7年度的主要取り組み

紡ぐ1 すべての住民に優しい健康・福祉施策の充実

地域の特性や福祉ニーズに応じて、各事業を効率的・効果的に実施します。

- 保育料無償化の継続
- 高齢者のインフルエンザ・新型コロナウイルスワクチン定期接種の自己負担額一部補助の継続
- 高齢者の^{たいじょうぼうしん}带状疱疹ワクチン定期接種を実施
- 待機児童対策として保育所の施設整備の実施

紡ぐ2 「学びのまち・吉岡」の推進

多様な学習活動を進めるとともに、導入したICT機器のさらなる活用を目指します。

- 学習用端末の更新
- 吉岡中渡り廊下改修や防犯カメラ更新

紡ぐ3 次世代につなげる生活環境の充実

公共交通の利便性や定住環境の向上に努め、住民生活の質の向上を図ります。

- 生ごみ処理機器購入費補助や資源ごみストックハウス利用の促進
- 都市計画道路漆原総社線（第1工区）の用地買収・補償の継続
- 吉岡バイパス延伸早期着手を県へ要望
- 天神東公園の再整備に伴う用地測量
- 都市計画マスタープランの改定

紡ぐ4 地域産業の持続的発展支援

若者や女性の働く場所の創出を図るとともに、観光面での地域資源の利活用に努めます。

- 駒寄スマートIC産業団地事業の推進
- 榛東村・吉岡町合同イベントの継続
- 道の駅のリニューアル検討

紡ぐ5 緊急時対応への備えの充実

災害が起きても迅速に回復するしなやかさを備えるとともに、事故や犯罪の少ないまちづくりを推進します。

- 防災行政無線施設の維持管理、自主防災組織への支援
- 交通安全施設整備
- 防犯灯・防犯カメラの維持管理
- 交通・防犯に関わる各種補助金制度の継続

紡ぐ6 将来を見据えた行財政運営の推進

住民の利便性向上と業務の合理化・効率化に向けてさらなるデジタル化と堅実な行財政運営を推進します。

- ガバメントクラウド上での基幹系システム運用開始
- ふるさと納税やクラウドファンディングの推進

町長施政方針に質問しました

町長施政方針演説の内容に対して、1人30分の持ち時間で質問を行うことができます。今回は、3人の議員が質問に立ちました。



「ささつな自治体協議会」への参加を

とみおか たいし 議員
富岡 大志 議員



Q 議会広報常任委員会の視察が切っ掛けで、本町は昨年12月に神奈川県開成町と災害時相互応援協定を締結した。しかし、県外自治体との同協定締結はまだ1つしかない。そこで、「ささつな自治体協議会」への参加を強く勧めたい。全国の自治体首長が集う協議会であり、地域を超えた首長同士の対話と連携によって地域課題の解決を図り、災害時の相互支

援体制の構築にも取り組んでいる。参加自治体を募集しており、会費は一切かからない。同協議会については、総務産業常任委員会の視察が切っ掛けでつながりのある富山県舟橋村や静岡県松崎町が加入している。両町村長にコンタクトを取り、話を聞いてみてはどうだろうか。

A 「ささつな自治体協議会」への加入は、相互支援自治体を拡大する有効な方法。選択肢の1つとして研究していきたい。研究にあたっては、機会があれば、舟橋村の渡辺村長や松崎町の深澤町長にも話を聞いてみたい。



男性職員の充実を図る考えは

こばやし しずや 議員
小林 静弥 議員



Q 男女共同参画の観点から、初等教育・幼児教育の現場で男性職員の充実を図る考えは。

A 吉岡町男女共同参画基本計画に基づいて、男性保育士の登用が進むよう、関係各所に働きかけていきたい。

Q 闇バイトの被害とか SNS 上でのトラブルとか、危険なことから未然に自らを守る、教育のさらなるアップデートの考えは。

A 発達段階に応じ、計画的に指導している。

Q ごみ分別の意識を高め、ごみ減量化に対する考えは。

A 広域圏内では、町は渋川市・榛東村よりプラごみの分別が進んでいる。令和7年度から町は広域圏内で唯一プラごみの回収を毎週行うため、より一層分別が進むと認識している。

Q 天神東公園と道の駅よしおか温泉は、町の顔となるような施設を目指す心積もりでの「東の玄関口」という呼称であるべきと思うが。

A 町の東の玄関口としてふさわしい施設となるよう、リニューアルを検討していきたい。



企業誘致実現のため慎重な検討を

こいけ はるお 議員
小池 春雄 議員



Q 財源確保として企業誘致を掲げているが、計画の実現には慎重な検討が必要ではないか。事業にどの程度の金額がかかるのか。

A 費用は算定中だが、企業誘致は雇用機会の拡大や地域経済発展のために重要な事業である。今後も議員と連携し着実に進めていきたい。

Q ふるさと納税による税收確保について、令和7年度の決意は。

A 努力を継続することはもちろんのこと、今後は新たな返礼品提供事業者として活躍できるような産業育成にも注力したいと考えている。

Q 「子どもを育てるなら吉岡町」と言えるほど支援の中身が伴っていない。財政状況を言い訳にせず、町長の姿勢を示してほしいが。

A 令和7年度は保育関連では、保育所の待機児童対策として施設整備の推進や病児保育事業の拡大などを行う。また、学校教育面では ICT 環境整備として児童・生徒用タブレット端末の更新などを行う。これらは町の子育て支援策として胸を張れるものであると考える。